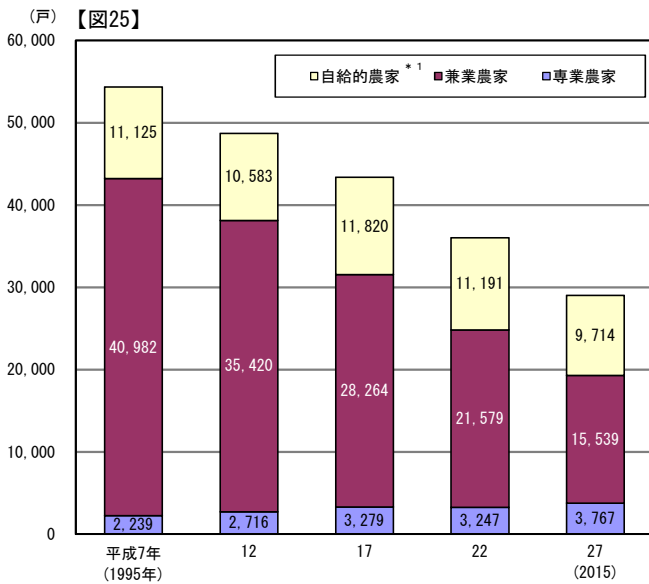


# 農林水産業

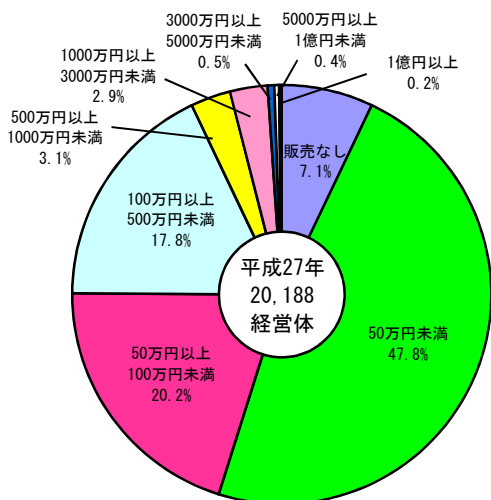
## ■ 農家数の推移



\* 1 経営耕地面積が30a未満かつ調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円未満の農家  
「農林業センサス」 農林水産省 (各年2月1日現在)

## ■ 農産物販売金額規模別農業経営体数

【図27】



「2015年農林業センサス」 農林水産省

### くらしの数字

農業用機械所有台数 (100農業経営体当たり)

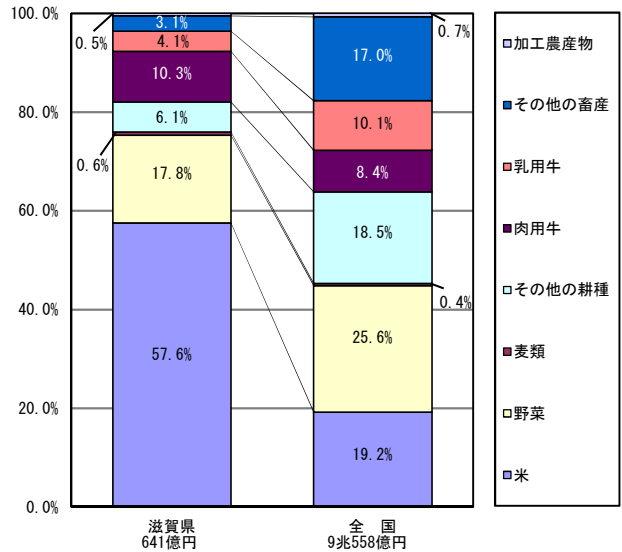
動力田植機 103.6台 全国18位

コンバイン 108.6台 全国8位

「2015年農林業センサス」 農林水産省

## ■ 農業産出額の品目別構成比

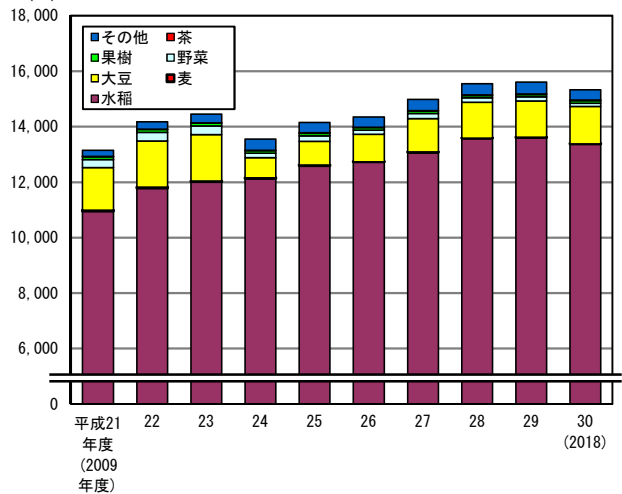
【図26】



「生産農業所得統計」<第1報> 農林水産省 (平成30年)

## ■ 環境こだわり農産物

【図28】 環境こだわり農産物 \*2 の栽培面積の推移

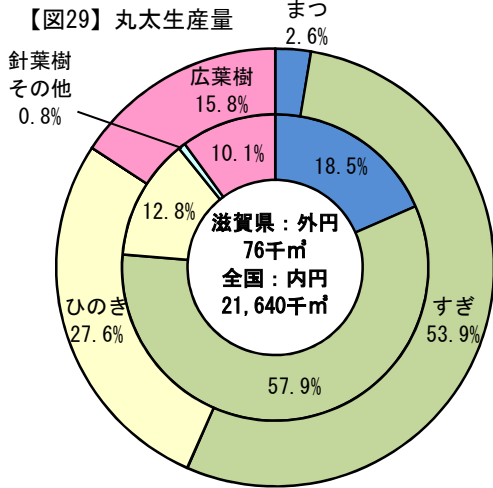


\* 2 農薬や化学肥料の使用量を通常の半分以下に減らし、環境への影響を小さくして生産した農産物  
※ 1 「面積」とは、生産計画認定面積を指します。

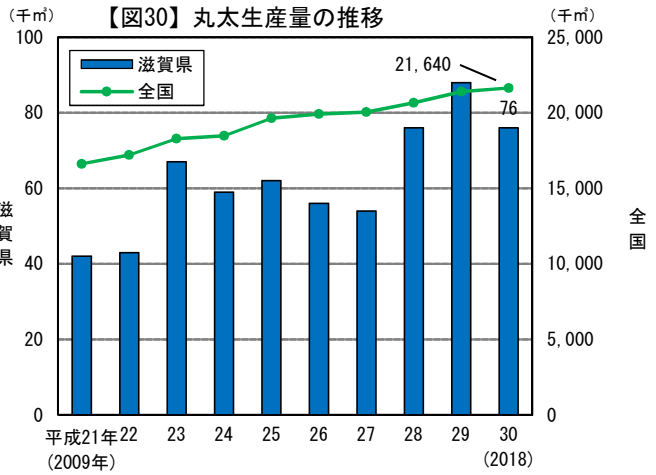
食のブランド推進課

- ・平成27年2月1日現在の農家数は29,020戸で5年前より6,997戸減少した。(図25)
- ・平成30年の農業産出額は641億円で、このうち米の割合が57.6%を占めている。米の割合は、全国の約3倍である。(図26)
- ・農業経営体のうち、農産物販売金額が50万円未満(販売なしを含む)の経営体は全体の54.9%である。(図27)
- ・環境こだわり農産物の栽培面積は、平成30年には15,334.6haとなった。(図28)

## 丸太生産量

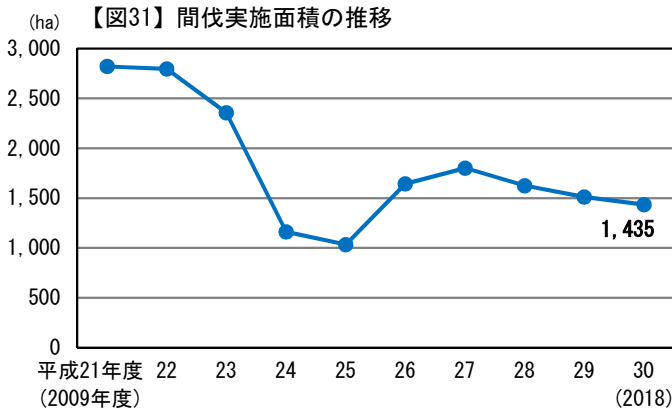


「木材統計調査」農林水産省（平成30年）



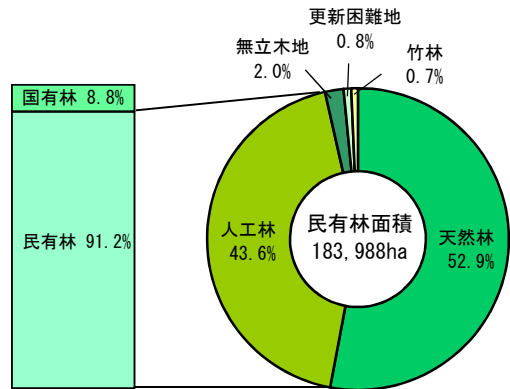
「木材統計調査」農林水産省

## 森林面積



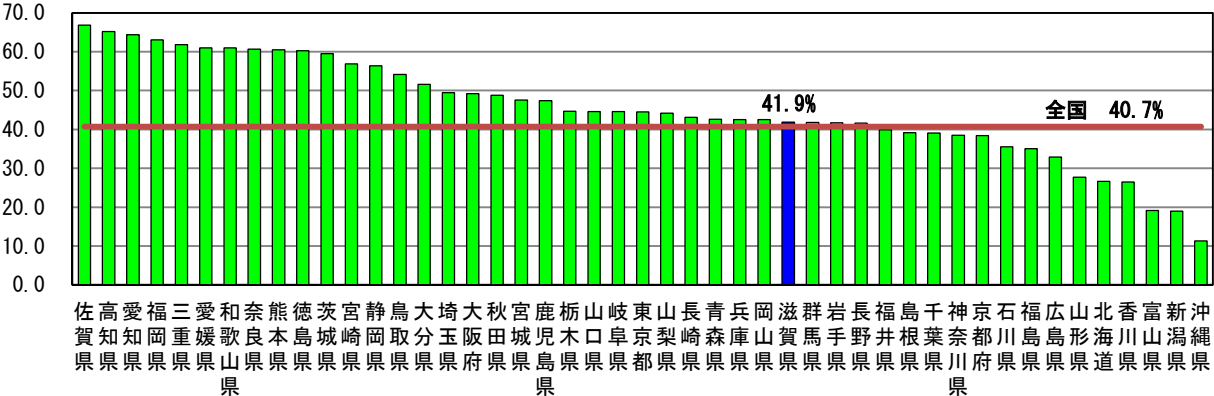
「滋賀県森林・林業統計要覧」県森林政策課

## 【図32】森林面積の割合



「滋賀県森林・林業統計要覧」県森林政策課（平成30年度）

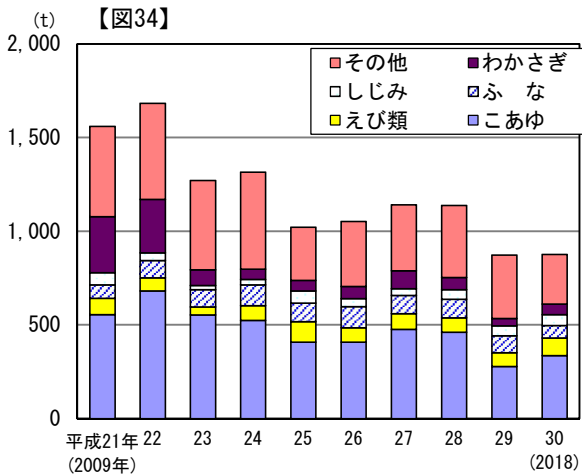
## 【図33】人工林率（森林面積に対する人工林面積の割合）



林野庁（平成29年3月31日現在）

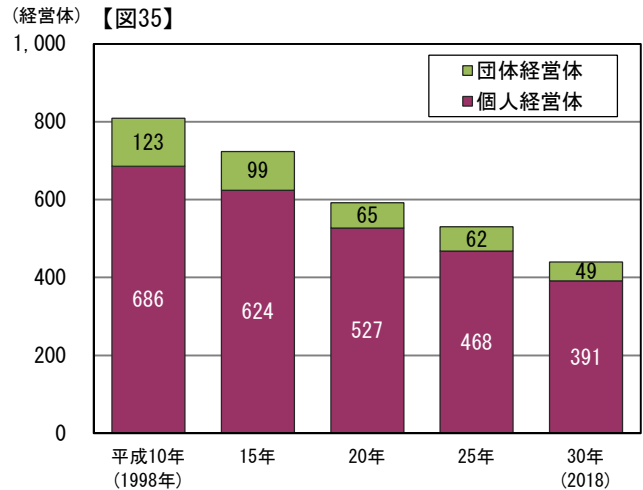
- ・丸太生産量のうち、すぎが53.9%を占めている。（図29）
- ・丸太生産量の推移をみると、3年ぶりに減少した。（図30）
- ・県内の森林のうち91.2%が民有林で、そのうち52.9%が天然林である。（図32）
- ・平成29年3月31日現在の人工林率（森林面積に対する人工林面積の割合）は41.9%で、全国30位である。（図33）

## 琵琶湖の漁獲量の推移（魚種別）



「内水面漁業生産統計調査」 農林水産省

## 琵琶湖の漁業経営体数の推移

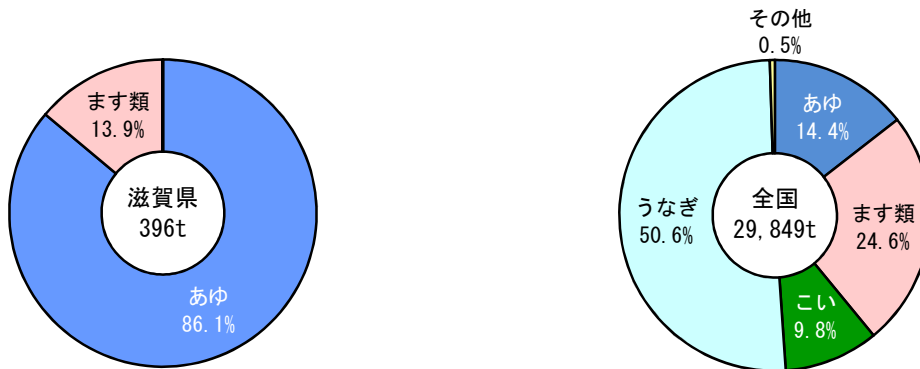


※2 団体経営体および年間湖上作業従事日数30日以上  
の個人経営体に関する数値。

「漁業センサス」 農林水産省

## 内水面養殖業の収穫量

【図36】



※3 琵琶湖養殖を含む。

※4 秘匿数（統計法の秘密保護に基づく）は含みません。

「漁業・養殖業生産統計」 農林水産省（平成30年）

### くらしの数字

就業者1人当たり農業産出額（販売農家）（平成29年度）  
全国41位 260.3万円

土地生産性（耕地面積1ha当たり）（平成29年度）  
全国43位 124.2万円

「統計でみる都道府県のすがた2020」 総務省統計局

・平成30年の琵琶湖での漁獲量は、876tで前年より0.3%増加した。  
魚種別にみると、こあゆ336t(38.4%)、えび類95t(10.8%)、ふな67t(7.6%)、しじみ58t(6.6%)、わかさぎ56t(6.4%)などとなっている。（図34）

・平成30年の琵琶湖漁業経営体の総数は440で、このうち団体経営体が49、個人経営体は391となっており、9割近くを個人経営体が占めている。（図35）

・平成30年の滋賀県の内水面養殖業（琵琶湖養殖を含む）の収穫量は433tであった。収穫量のうちあゆが341tで78.8%を占める。（図36）